

ロシア為替週報

2023年4月24日 | みずほ銀行欧州資金部

＜過去1週間の動き＞

(4月15日～4月21日)

USD/RUB: 81.175～82.200

過去1週間のロシア・ルーブルは横ばいで推移。4月初頭以降の急ピッチのルーブルの下落は一服しているものの、2022年4月以来約12か月ぶりの安値水準で膠着した展開となっている。

ここにきてルーブルの下げ足が鈍っているのは、ロシア政府がロシアから撤退する企業に対する締め付けを強める姿勢を示しているほか、例月25日とされる鉱物資源採掘税の支払いに向けてロシアの輸出企業が稼いだ外貨をルーブルに転換していると見られることが影響した可能性があるだろう。4月17日には、ロシア中央銀行とロシア財務省が、ロシアから撤退する外国企業による国内市場での外貨購入に毎月の制限を設けることを検討していると現地紙が報じたほか、4月20日には撤退する企業に対する新たな課税も検討されている、と報じられている。こうした措置をロシア当局が検討している背景には、4月12日にロシア当局によって承認された、欧州に本拠を置く大手エネルギー企業による事業撤退が、4月初めからの急速なルーブル安の一因となったという見方があるためだと見られる。

しかし、欧米を中心にロシアに対して課されている経済制裁は一段と強化され、ロシアの国際収支を圧迫しそうだ。4月21日にはG7がロシアに対し、ほぼすべての品目の輸出禁止措置を検討していると報じられている。ロシアでは国際収支関連の指標の悪化が既に経済指標でも鮮明となっているが、こうした傾向が継続するようであればルーブル安圧力の継続につながる算が大きい。欧米からの制裁強化の流れの中、中国やインドなどアジアの大国との関係が今後のロシアの国際収支にとって焦点となろう。両国はロシアとの距離を取りつつあるという見方もあるが、少なくともエネルギー分野では関係を強化する動きが鮮明である。4月20日には中国がロシア民間軍事会社への武器の供与を拒否していたとフィナンシャル・タイムズ誌が報じているほか、4月21日にはロシアによるインドへの兵器供給が鈍っているブルームバーグが事情を知る複数のインド当局者による発言として報じている。もっとも、少なくとも中国とロシアとの通商関係でデータを見る限りは、2022年の輸出入の貿易総額が1,902億ドルと過去最高となったほか、3月の中国によるロシアからの原油輸入は数量ベースで前年の1.5倍に達している。

＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
4/20	14:00	外貨準備高	4/14		\$600.2b	\$600.8b

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう1週間の見通し＞

(4月22日～4月28日)

USD/RUB: 80.00～85.00

経常収支や財政収支などロシア経済のファンダメンタルズの悪化が鮮明となっていることを考慮すれば、今後もルーブル安方向への展開が続く可能性が高い。過去1週間の値動きを見る限りルーブルは下値を固めつつあるようにも見られるが、例月25日とされる税金の支払いが過ぎた後に再びルーブル安圧力が強まる可能性を意識するべきであろう。ルーブル高方向のリスクとしては、ロシア当局がルーブル安抑制のために為替取引規制を一段と強めるシナリオが挙げられる。

＜向こう1週間に発表予定の主要経済指標等＞

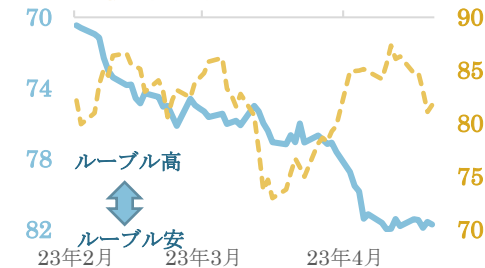
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
4/27	14:00	外貨準備高	4/21			\$600.2b
4/28	11:30	政策金利発表		7.5%		7.5%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

ロシア・ルーブルの推移

ルーブル対ドルレート(左軸、逆目盛)

ブレント先物価格(右軸)



原油価格の推移

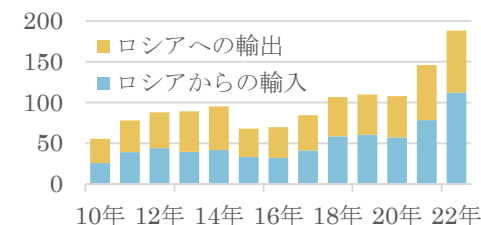
実線: ウラル産原油価格

点線: ブレント先物価格(右軸)



中国 ロシアとの貿易

(10億ドル)



(資料: ロシア中央銀行/中国税関/ブルームバーグ)

＜文責＞

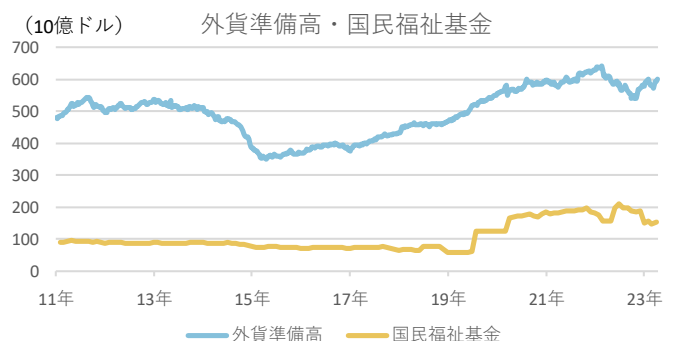
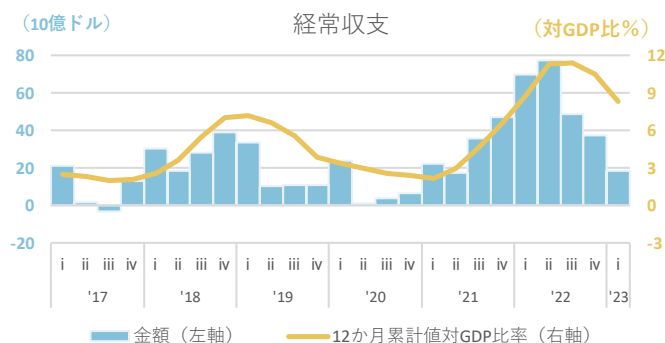
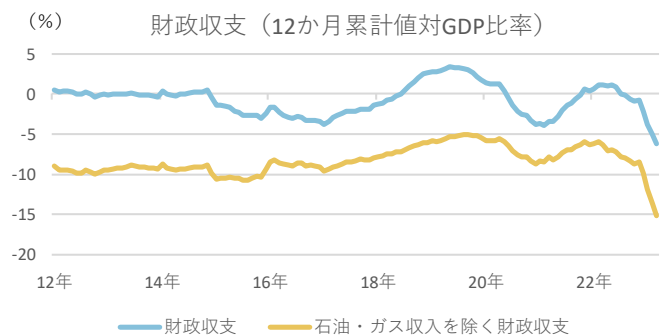
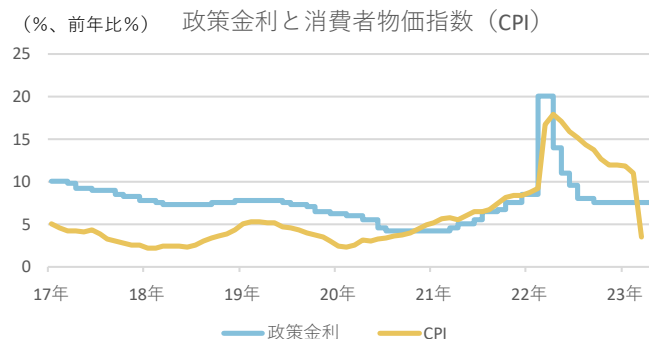
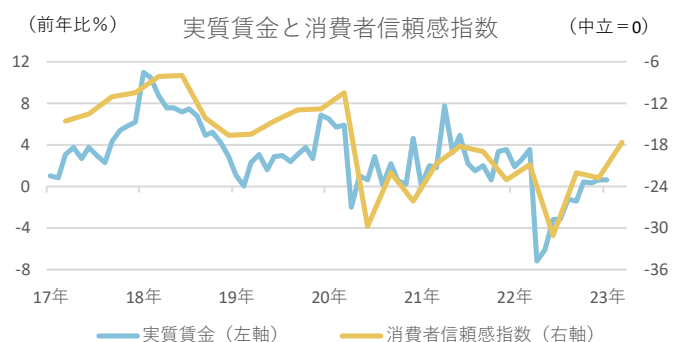
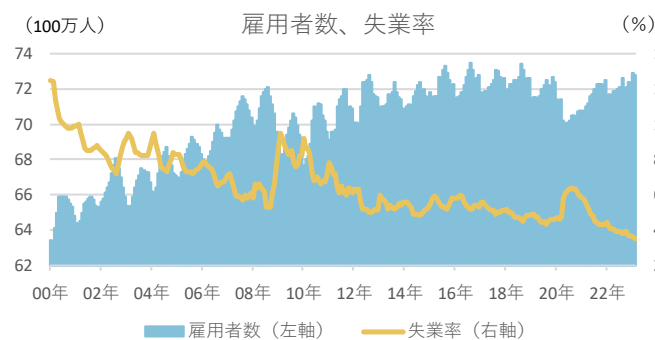
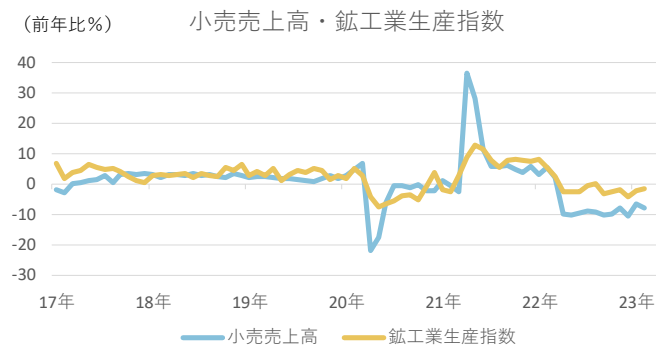
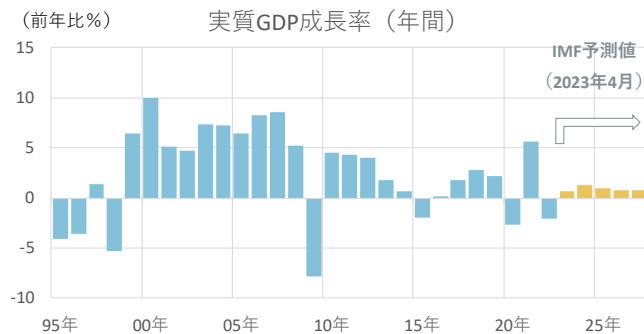
欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

<主要経済指標の推移>



(資料 ロシア中央銀行/ロシア統計局/ロシア財務省/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。